長野県とその周辺の地震活動

（令和８年９月）

令和８年10月29日
長野地方気象台

【地震活動概況】

１．長野県とその周辺

９月に、県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震は４回（前月：５回）でした。９月の県内の最大震度は、17日00時07分 茨城県南部の地震（深さ67km、M4.9）により茅野市、南牧村で観測した震度２でした。

詳細は「表２　９月に県内で震度１以上を観測した地震と各地の震度」、「２．長野県内で震度を観測した主な地震」を参照してください。

表１　県内の震度別回数表（９月および2026年累計）

	震度１	震度２	震度３	震度４	震度５弱	震度５強	震度６弱以上	計
2026年９月	3	1	0	0	0	0	0	4
2026年累計	78	38	13	1	1	1	0	132

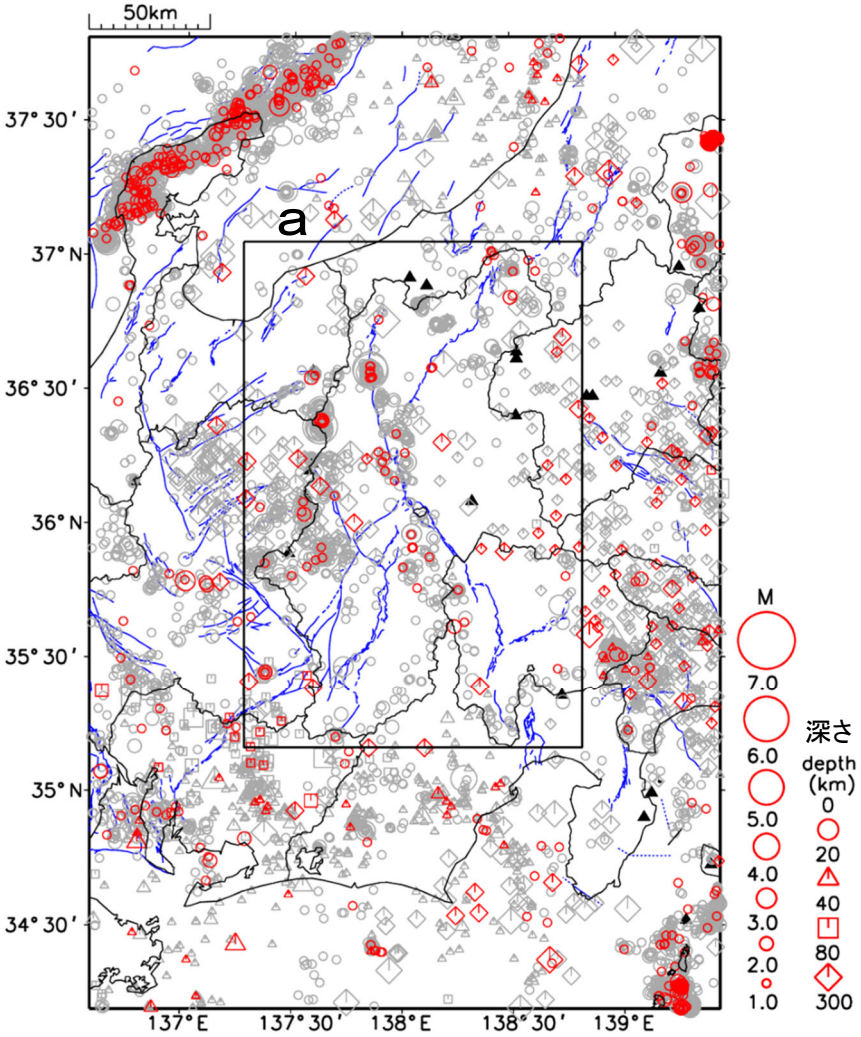


図１　震央分布図

（2025年10月１日～2026年９月30日、深さ０～300 km、M≧1.0）

2026年９月の地震は赤色で示しています。青色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示します。また、▲は活火山を示します。

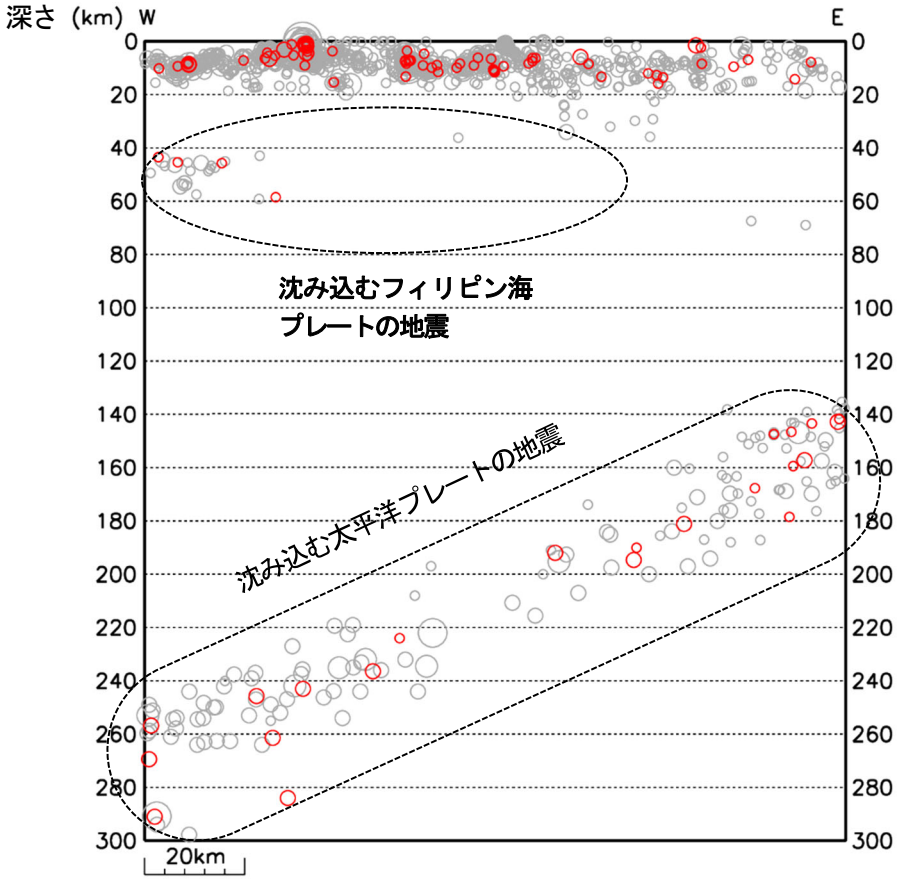


図２　東西断面図（図１の領域ａ内）

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表しています。2026 年９月の地震は赤色で示しています。

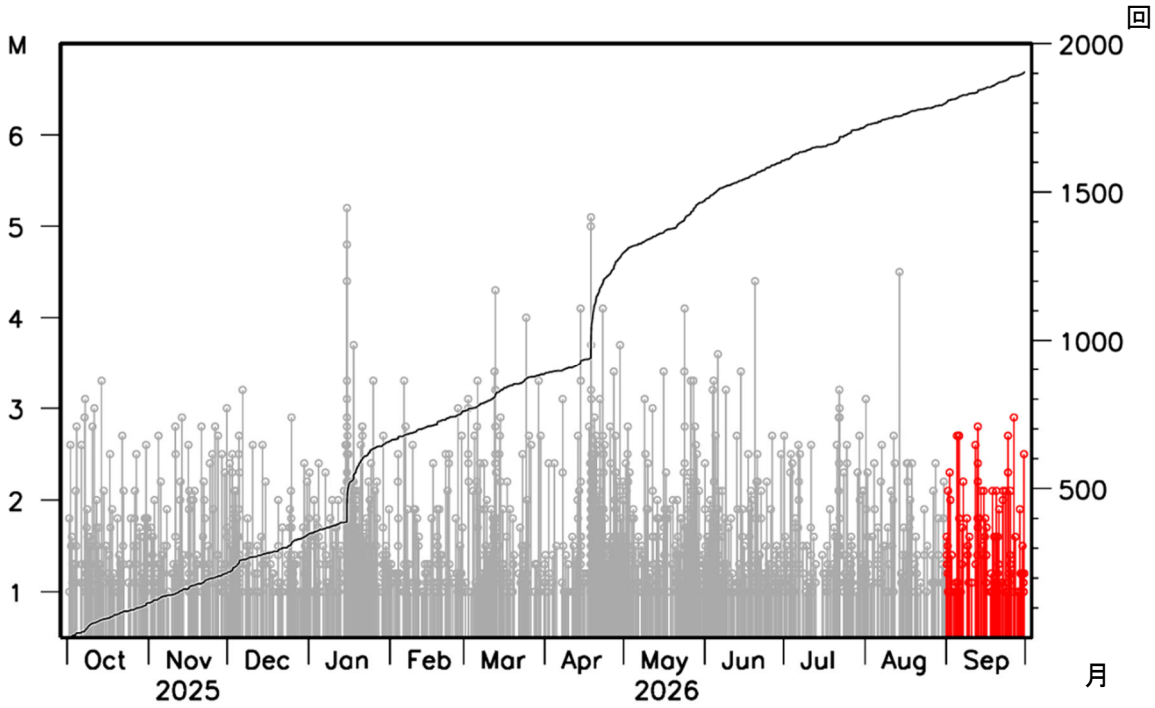


図３　地震活動経過図及び回数積算図（図１の領域ａ内）

地震発生日時と、マグニチュードの大きさを丸の付いた縦棒で表しています。横軸は年月で、マグニチュードの目盛を左側に示します。2026 年９月の地震は赤色で示しています。折れ線グラフは地震の積算回数を表し、目盛を右側に示します。

表２　９月に県内で震度１以上を観測した地震と各地の震度

No.	年　月　日　時　分　震央地名	緯度	経度	深さ	M
1	2026年09月10日11時49分　岐阜県美濃中西部	35°47.2'N	137°00.5'E	10km	M3.7
	長野県　震度１：木曽町新開＊				
2	2026年09月13日01時03分　長野県北部	36°23.1'N	137°37.8'E	1km	M2.8
	長野県　震度１：松川村役場＊				
3	2026年09月17日00時07分　茨城県南部	36°04.5'N	140°08.9'E	67km	M4.9
	長野県　震度２：茅野市葛井公園＊,長野南牧村海ノ口＊				
	震度１：諏訪市湖岸通り,佐久市下小田切,佐久市中込＊,小海町豊里＊,軽井沢町追分				
	長野川上村大深山＊,富士見町落合＊,原村役場＊,飯田市高羽町,中川村大草＊				
4	2026年09月29日04時45分　茨城県南部	36°03.2'N	139°56.1'E	46km	M4.9
	長野県　震度１：諏訪市湖岸通り,諏訪市高島＊,茅野市葛井公園＊,佐久市中込＊				
	小海町豊里＊,長野南牧村海ノ口＊				

＊の地点は、地方公共団体(長野県、松本市、大町市、栄村)または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

各地の震度は、気象庁ホームページの「震度データベース検索」でも検索することができます。

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php

２．長野県内で震度を観測した主な地震

令和８年９月17日　茨城県南部の地震

17日00時07分 茨城県南部の地震（深さ67km、M4.9）により、茨城県などで震度３を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度２～１を観測しました。。長野県では茅野市、南牧村で震度２を観測したほか、長野県中部・南部で震度１を観測しました。

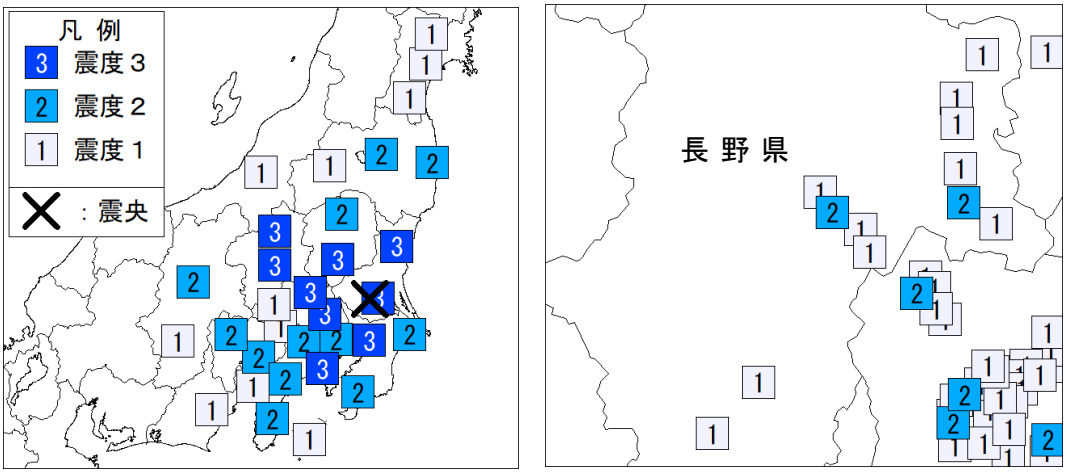


図４　９月17日 茨城県南部の地震の震度分布図（左：地域別、右：地点別）

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

評価検討会は令和８年10月７日に行われています。現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。
・詳細はこちらから　https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html

南海トラフ沿いの大規模地震（Ｍ８からＭ９クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」※参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。
※地震調査研究推進本部HP　https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/nankai_3.pdf

一口メモ

11月5日は 津波防災の日

11月５日に緊急地震速報の訓練を行います

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、気象庁では令和８年11月５日（木）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

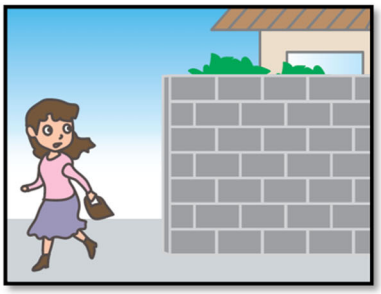
11月５日(木)10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。
11月５日の訓練時に防災行政無線、館内放送等で放送されるかは、お住まいの市町村、ご利用される施設へご確認ください。
※訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急地震速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティFM等を除く）

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら
「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず
係員の指示に従って！

気象庁ホームページ　訓練特設ページ「緊急地震速報の訓練（令和８年11月５日）」
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/eew/kunren/2026/kunren.html

本資料中、マグニチュードをMと略記しています。
気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

本資料は速報資料です。後日内容を変更する場合があります。
「長野県とその周辺の地震活動」は、長野地方気象台ホームページに掲載しています。
長野地方気象台　https://www.data.jma.go.jp/nagano/

問い合わせ先：長野地方気象台　地震担当（026-232-3773）